

5 八都県市共同アンケートの実施

(1) アンケートの趣旨

- ・ 20年度、八都県市域内の企業・事業所が、ワークライフバランスの推進にどのように取り組み、取組の課題や効果をどう捉えているか、などについてアンケートを実施した。
- ・ 調査は平成20年11月から平成21年3月にかけて、域内企業・事業所のうち主にワークライフバランスの推進に日頃から取り組んでいただいている237社・事業所から回答があった。

(2) アンケート調査票

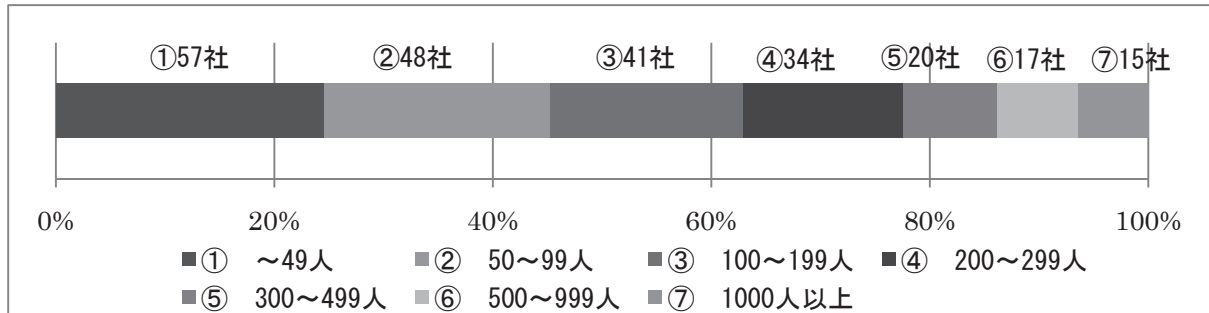
＜質 問 票＞			
問1	従業員数(正規)は何人ですか。	全体 <input style="width: 50px;" type="text"/>	男性 <input style="width: 50px;" type="text"/> 女性 <input style="width: 50px;" type="text"/>
問2	過去5年間に育児休業を取得した人は何人ですか。	全体 <input style="width: 50px;" type="text"/>	男性 <input style="width: 50px;" type="text"/> 女性 <input style="width: 50px;" type="text"/>
問3	結婚・出産等を機に退職する女性従業員の割合は <u>おおよそ</u> 何割ですか。	<19年度の割合> 1. 1割未満 3. 4割未満 5. 7割以上 2. 2割未満 4. 7割未満 6. わからない	
問4	貴社のワークライフバランスの取組をお答えください(A群・B群から <u>いくつでも</u>)		一つを選択
	A群 ア 時間外労働の削減 イ 有給休暇の取得促進 ウ 制度利用等に関する情報提供 エ 男性の育児参加促進 オ 育児休業中の代替要員 カ フレックスタイトム制度 キ 次世代認定マーク取得について ク 育児休業からの復帰支援		当てはまる取組(複数選択可) <input style="width: 100%;" type="text"/>
	B群 1. 経営戦略等にワークライフバランスを進める趣旨を盛り込む 2. 育児休業や短時間勤務制度の利用が不利益な評価にならないことのルール化 3. ワークライフバランスに関する情報提供・相談を行う組織・担当の設置 4. 勤務地を限定された地域内にとどめる制度の整備 5. 従業員の家庭の事情を考慮し、自宅近くの事業所に異動させる 6. ノー残業デーなどの設定 7. 従業員に対して作業の無駄をなくして、早く帰るように励行 8. 従業員が休みをとりやすいよう、従業員相互で業務を共有する工夫 9. 一人の従業員が複数業務をこなせるよう体制を整え、欠員補充を容易にする 10. 従業員ひとりひとりに対する、定期的な面談 11. 現場の管理職の意識を変えるための、管理職を対象とした研修 12. 女性管理職との懇談の場など、女性従業員の横断的なネットワークづくりの支援 13. その他(取組内容)		当てはまる取組(複数選択可) <input style="width: 100%;" type="text"/>
問5	自社はワークライフバランスが進んでいると思いますか。	1. 進んでいる 3. あまり進んでいない 2. ある程度進んでいる 4. 進んでいない	一つを選択
問6	ワークライフバランスを進める上で困難と感じることはありますか。	1. 特になし 4. 職場に取組を推進しづらい雰囲気がある 2. 資金的な余裕がない 5. 取組の具体的な方法がわからない 3. 人的な余裕がない 6. その他()	一つを選択
問7	ワークライフバランスが企業の業績向上につながっていると思いますか。また、その理由は何かだと思いますか。	<業績向上につながっているか> 1. 強く思う 3. あまり思わない 2. まあそう思う 4. 思わない	一つを選択
	1「強く思う」、2「まあそう思う」を選択した方 <業績向上につながっている理由> 1. 優秀な人材を採用できるようになった 2. 中途退職する従業員が減少した 3. 人件費コスト・募集コストが軽減した 4. 先駆的な企業としてイメージが改善した 5. 従業員の生産性が向上した 6. 従業員の就労意欲が高まった 7. 職場の雰囲気が明るくなった 8. チームや組織で助け合う雰囲気が出た 9. 女性社員の意識・意欲が向上した 10. 従業員全体の意識改革が図られた 11. 男女かかわらず能力を活用することで組織が活性化した 12. 組織・業務体制の見直しにより、業務効率が向上した 13. 生活者の視点・消費者の視点が本業に活かされた 14. 購買決定権を持つ女性消費者のニーズを把握できた 15. 多様な価値観に対応した事業展開ができるようになった 16. その他(具体的に:)		複数選択可 <input style="width: 100%;" type="text"/>
問8	ワークライフバランスの推進について、御意見、御提言などありましたら、ご自由に記入下さい。	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	

(3) アンケート結果

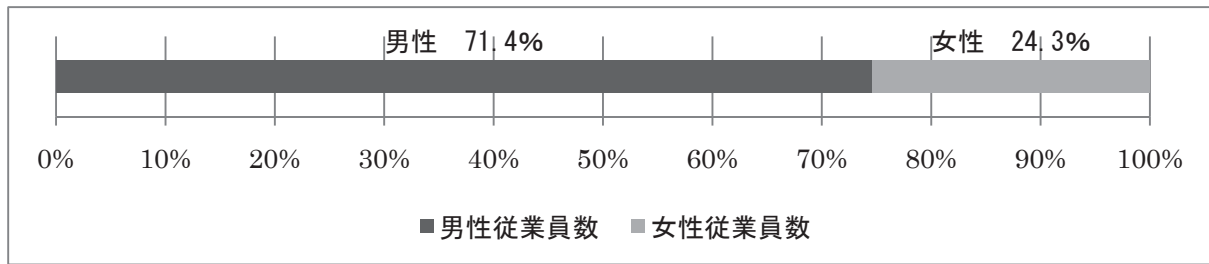
問1 従業員数 <回答企業の(正規)従業員規模・男女比>

- ◆ 回答企業の半数(約45%)が、従業員100人未満の企業である。
- ◆ 300人未満の企業まで広げると8割近くを占める。

1-1表 回答企業の従業員規模



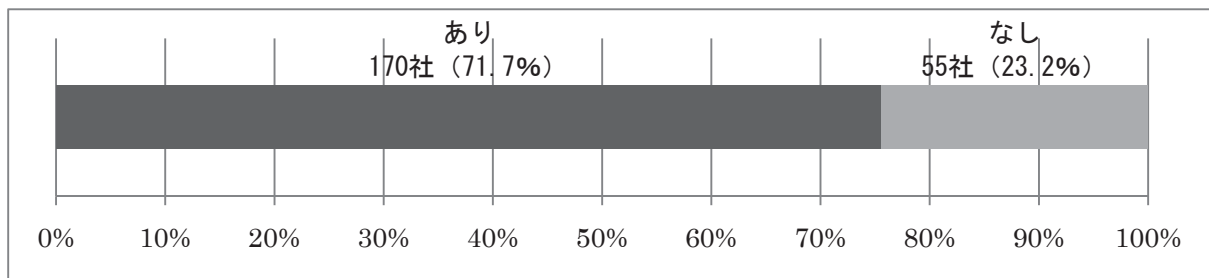
1-2表 回答企業の従業員数の男女比



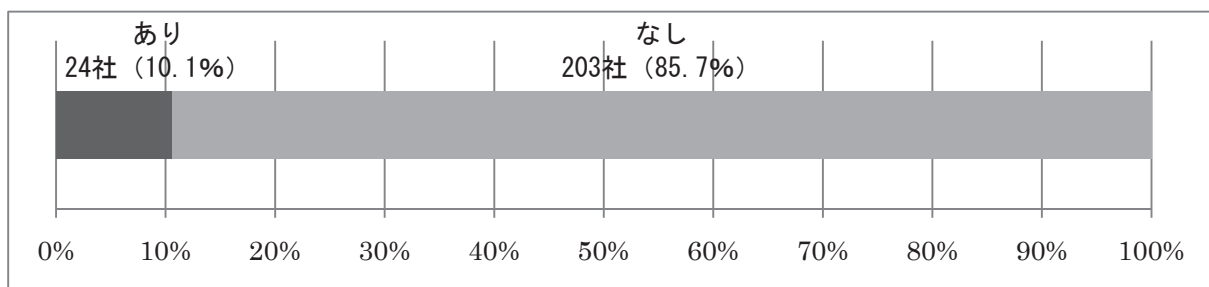
問2 育児休業を取得した従業員がいる企業<女性・男性>

- ◆ 女性の育児休業取得者がいる企業が7割を超えている。
- 一方、男性の育児休業取得者がいる企業は約10%にすぎない。

2-1表 女性の育児休業取得者がいる企業等



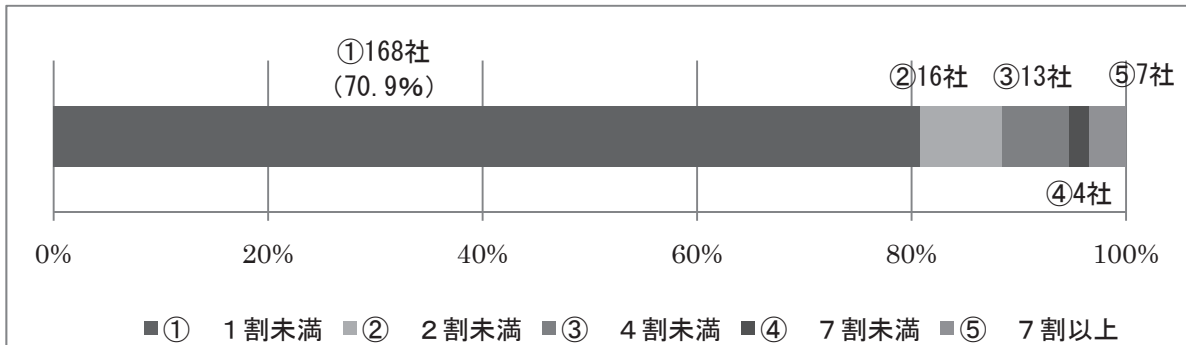
2-2表 男性の育児休業取得者がいる企業等



問3 結婚・出産等を機に退職する女性従業員の割合

◆ 結婚・出産を機に退職する女性従業員は、1割未満の企業等が7割を占めることから、回答のあった多くの企業等では結婚・出産後も働き続ける人が総じて多い。

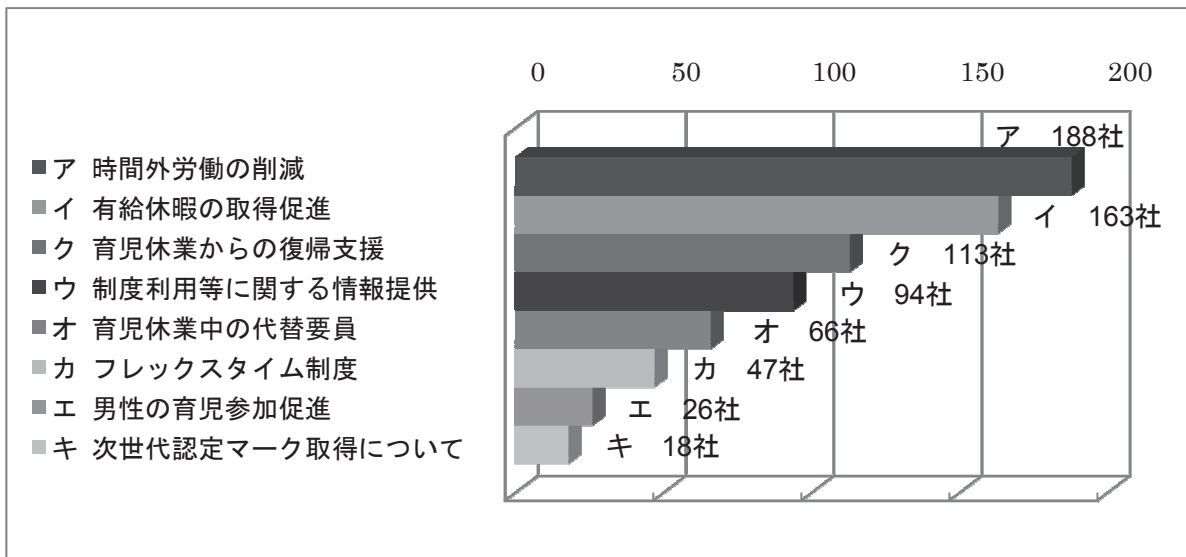
3表 結婚・出産等を機に退職する女性従業員の割合



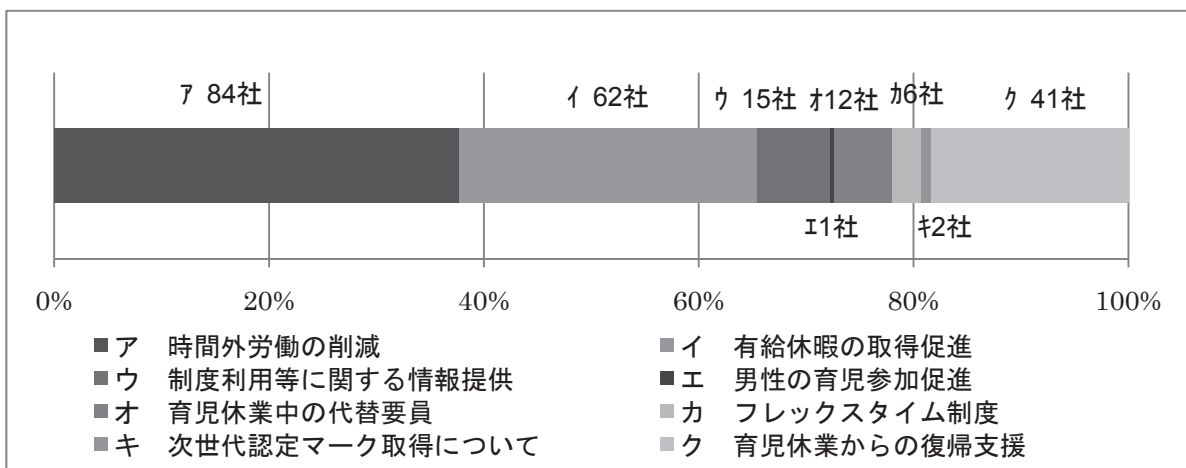
問4 ワークライフバランス推進の主な取組

◆ ワークライフバランスを推進するために、時間外労働の削減、有給休暇の取得促進に取り組んでいる企業等が非常に多い。

4-1表 ワークライフバランスを推進するための自社の取組 (A群)

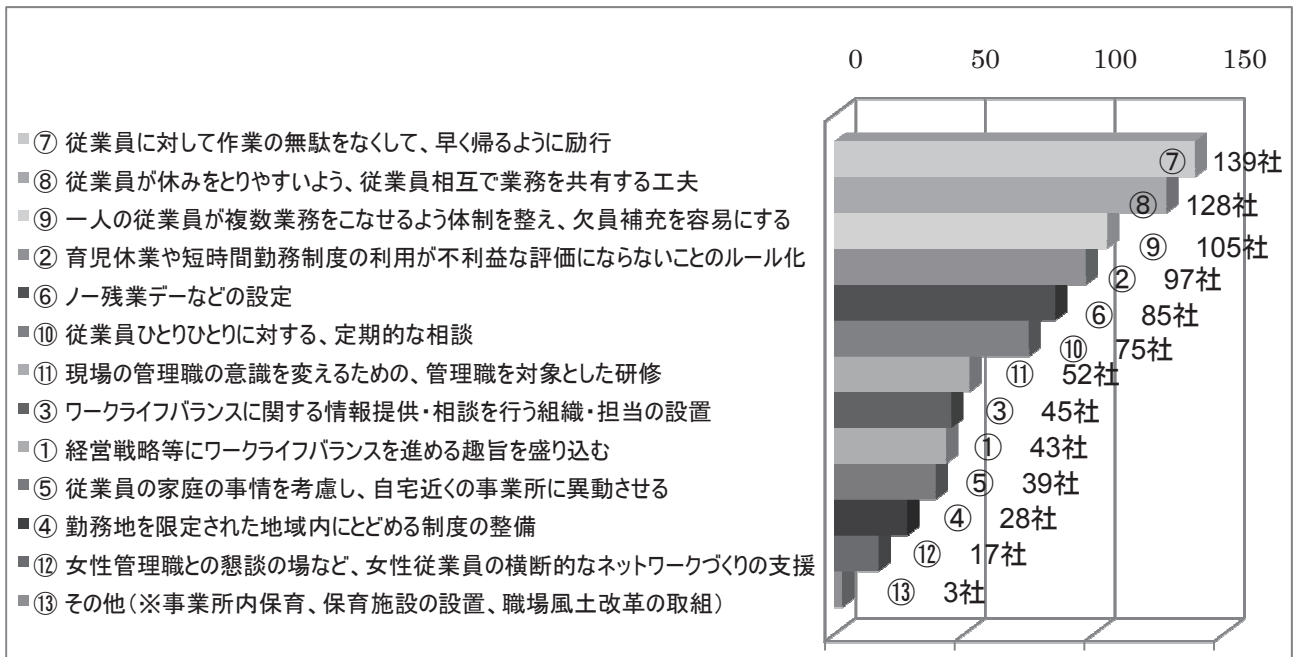


4-2表 上記で選んだ中で最も効果があると思う取組 (A群)

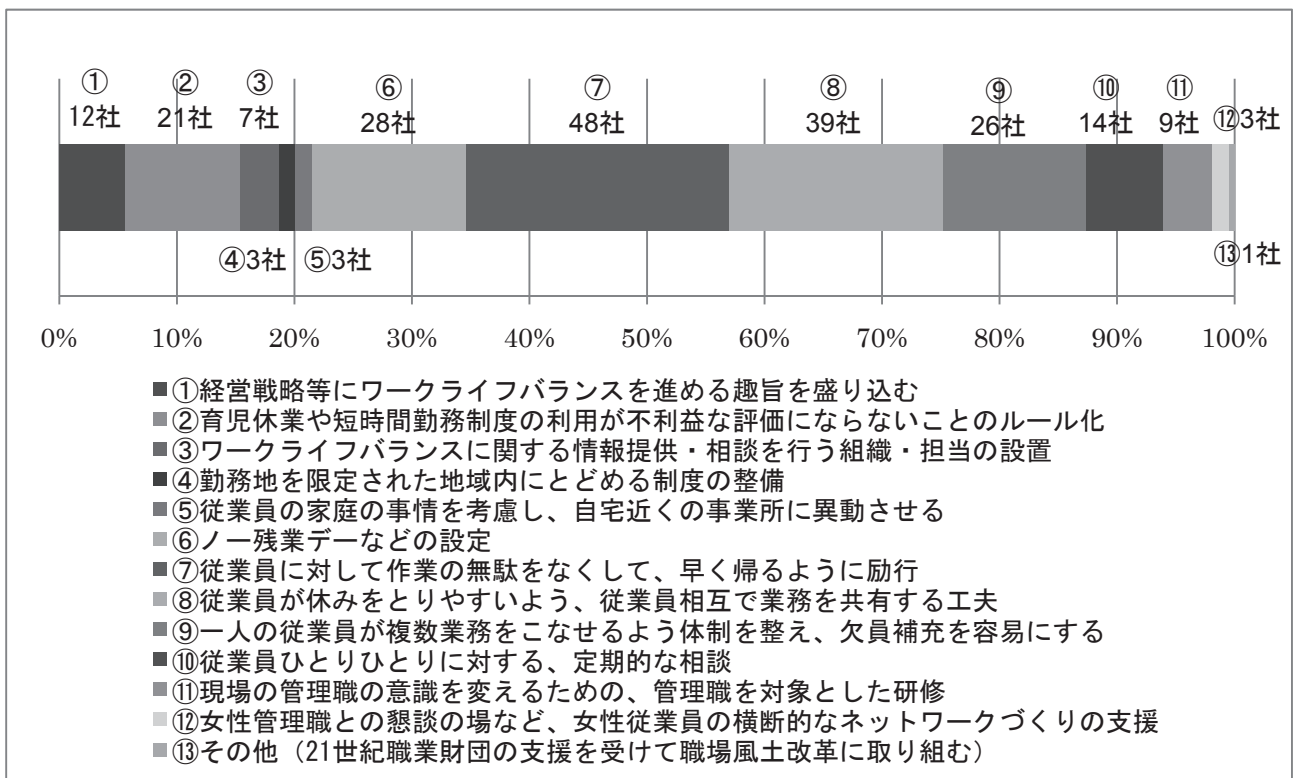


- ◆ 多くの企業が時間外労働を削減するために、主に「仕事の無駄を無くして、早く帰るように励行すること」や「ノー残業デーなどの設定」に取り組んでいる。
- ◆ また、従業員が休暇を取りやすい職場環境づくりを進めるため、「従業員相互で業務を共有する工夫」や「一人の従業員が複数業務をこなせるよう体制を整え、欠員補充を容易にする」といった取組を行っている。
- ◆ また、育児休業や育児等のための短時間勤務制度の利用促進のため「利用が不利益にならないことのルール化」にも多くの企業等が取り組んでいる。

4-3表 ワークライフバランスを推進するための自社の取組（B群）



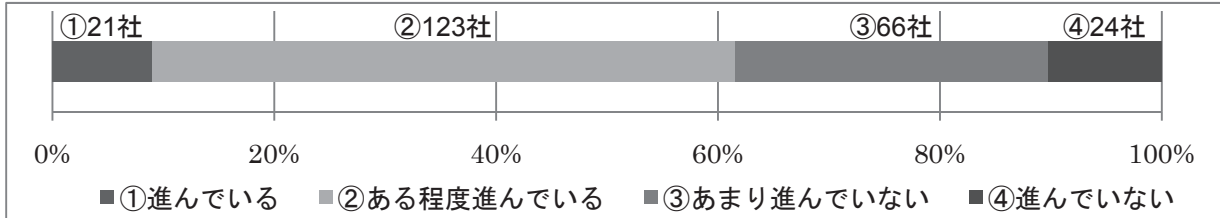
4-4表 上記で選んだ中で最も効果があると思う取組（B群）



問5 自社のワークライフバランス推進の取組の評価

- ◆ 6割の企業が自社のワークライフバランスの取組が「(ある程度)進んでいる」と評価している。

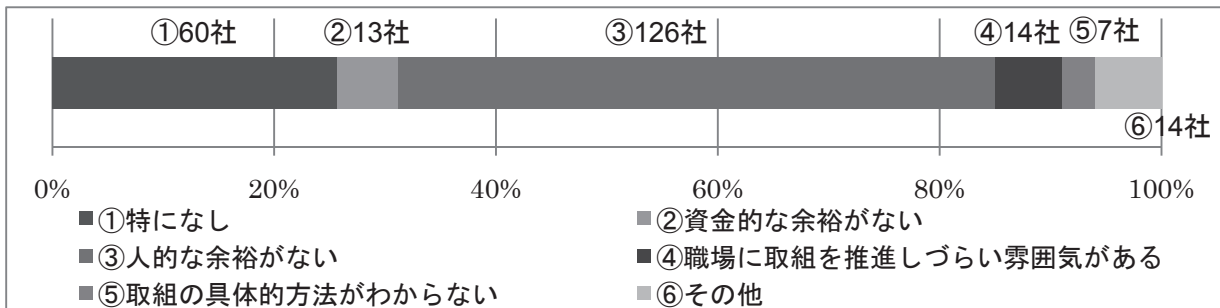
5表 自社はワークライフバランスの取組が進んでいると思うか



問6 ワークライフバランス推進で困難と感ずること

- ◆ 「特に無い」と回答した企業は、約1/4である。
- ◆ 半数の企業・事業所が「人的な余裕がない」ことを挙げている。
- ◆ 社内・職場内の雰囲気づくりや、社内の理解を得ていく困難さを挙げた企業もある。

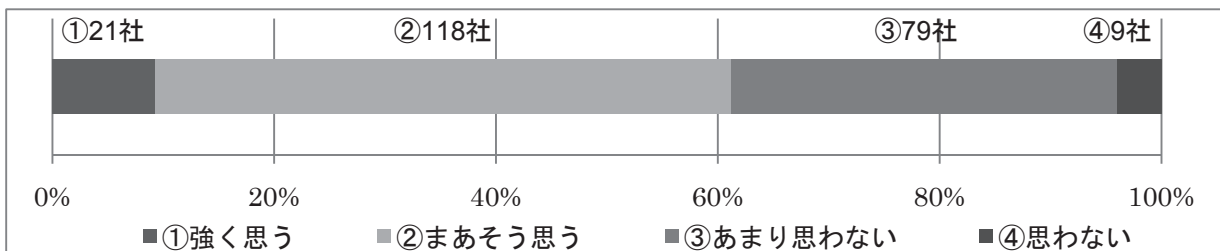
6表 ワークライフバランスを進める上で困難と感ずることは何か



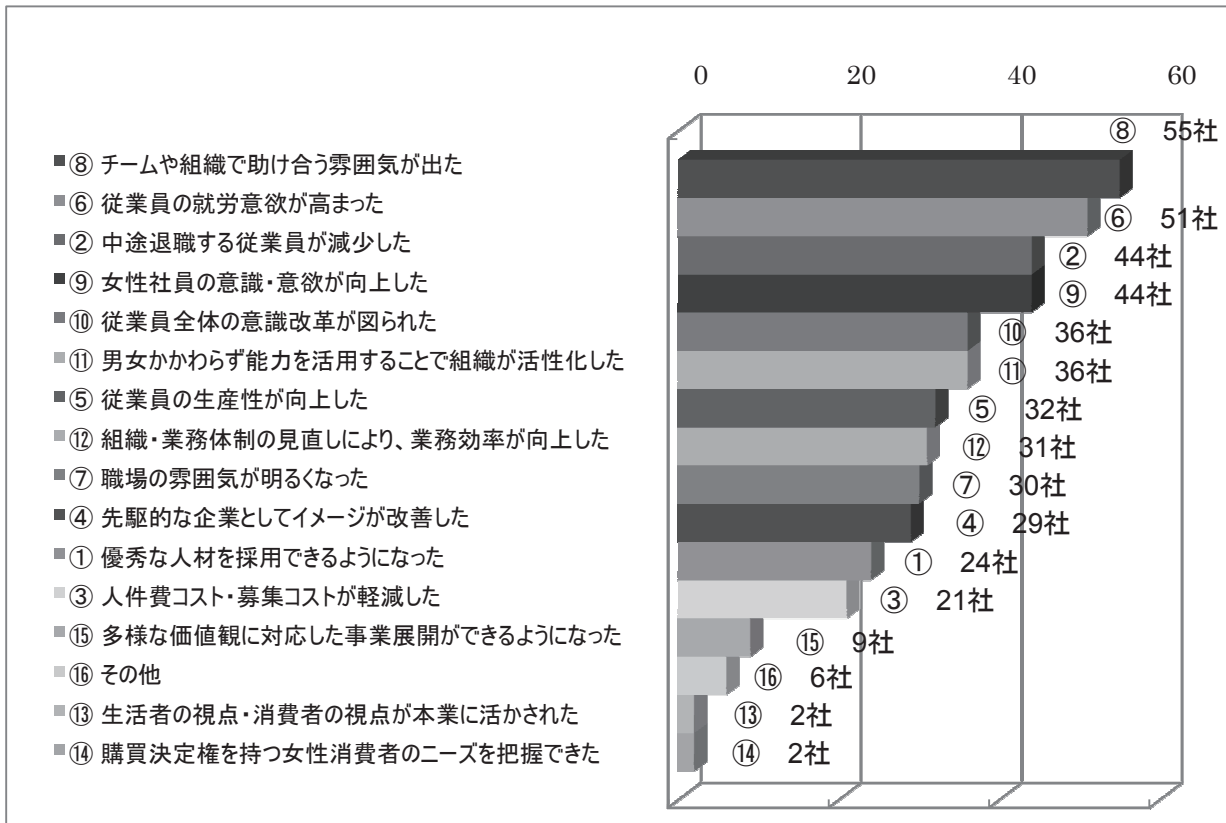
問7 ワークライフバランス推進の効果(業績の向上につながっているか)

- ◆ ワークライフバランスが自社の業績につながっていると「強く思う」「まあそう思う」と回答した企業は、約6割である。
- ◆ 一方、4割近い企業が「あまり思わない」「思わない」と否定的な回答をしている。
- ◆ ワークライフバランスが自社の業績につながっていると思う理由として「チームや組織で助け合う雰囲気が出た」「従業員の就労意欲が高まった」と挙げている企業・事業所が多い。
- ◆ その他、中途退職者の減少、従業員(特に女性)の意識・意欲の向上、組織の活性化など、既存の人材を活かすという側面での評価が高い。

7-1表 ワークライフバランスは業績向上につながっているか



7-2表 ワークライフバランスの推進が業績向上につながる理由（回答の多い順）



問8 ワークライフバランスの推進についてに御意見・提言

◆ワークライフバランスに対する基本的な周知・啓発が必要

1. ワークライフバランスの意味（イメージ）が人によって異なる。統一的な概念を分かりやすく説明すべきである。
2. 一般社員でワークライフバランスを知らない人が少なくない。もっとPRが必要。
3. WLB推進企業は仕事に甘い会社だと思える人がいる。あくまで仕事をするのが大前提で、権利に走るのではない。
4. 電気やガスと同じように時間も限りあるエネルギーの一つである。社員の時間を使うだけ使って仕事をするというのはエネルギーの無駄と思う。ワークライフバランスはあまり分かり易いネーミングとは思わないが、仕事においても私生活においても限りある時間を有効に使おうという意味においてなら価値がある運動と思う。

◆男性の育児参加について啓発している

5. 男性の育児参加について社内周知を継続して実施している。

◆幹部・管理者の意識改革・理解が必要

6. 社長を筆頭に会社の経営陣がWLBに対して理解を示さないと一担当者では推進できない。
国の取組をして当該経営陣にどう理解させるかが課題だと考える。
7. 現に推進できていないと業績向上につながるが分からず経営陣の理解も得られない。
8. 職場での雰囲気づくり、職場での管理者の教育が今後強く求められる。
9. まだまだ推進には時間が必要。世代が変わることで自ずとついてくる感もある。

10. 社会全体に改革・変化の風潮が見られない様に、現状維持が波風立たなくて良いという風潮がある様に思う。

11. 組織の基本理念、運営方針を明確にし、職員に啓蒙啓発することが重要だと思う。

◆まだこれからの取組課題である

12. これから取組をしなくてはならない課題と考える。

13. 会社設立2年目なので、これから取り組むためにセミナー等で学んでいく。

◆具体的な必要性が出てこないと取り組みづらい

14. 女性が少なく、なかなか具体的な策が打てない。また、家庭の事情による休暇の取得等もできているため、特にワークライフバランスを意識していないのが現状である。

15. 現在は無いが総務経理の産休があった時が問題と考える。

◆具体的な取り組み方が難しい、推進しづらい雰囲気がある

16. 取組の具体的な内容がわからなかったり、取組を推進しづらい雰囲気があったり、現実には難しい問題があると思う。

◆現在の経営環境では困難

17. 企業運営の厳しい中ではワークライフバランスの推進も容易ではない。

18. 経営状況の悪化により従業員を減らしており、現在の段階では何も言えない。

19. 現下の金融情勢に鑑み、ワークライフバランスに取り組む余裕がないのが本音。

◆中小企業としての困難さがある

20. 中小企業にとっては人材の確保や資金的な問題から理想とする会社・職場づくり現実との問題があり、困難な面がある。

21. 中小企業は人的及び金銭的余裕がないので、一度に進めていくことは難しい。工夫しながら推進していくことが肝要と思う。

◆業種・業務上の困難さがある

22. 年中無休で営業時間が10:00~20:00までの店舗展開をしている当社にとって、WLBの推進は非常に大変だ。

23. 運送業では時間的に不規則な部分が多く法的に何か無いと浸透は進まないと思う。

24. 運転手の場合、有給休暇が取得しにくい。

25. 看護師の募集をしても代替要員が確保できない。

26. 1~3月に業務が集中するため、業務が平均化するよう模索している。

27. 時間的な対応の難しさ(短時間)、残業対応、特定者への集中など不自由な面もある。

◆考えられる取組のメリット

28. 従業員満足(ES)を高めることが、強い集団づくり、ひいては企業業績の向上につながる。

29. 生産性の向上と人材の確保が重要であるように思う。

30. 人的な余裕があればさらに有効。

31. 優秀な人材確保が難しいこともあり、推進できる環境を整えることが先決と考えている。
女性社員の採用を積極的に行うことも重要との視点で取り組んでいきたい。

◆行政への要望

32. 当社は途上だが、企業風土改革で良い結果が表れた他社事例を紹介してほしい。

33. ワークライフバランスを導入することで非正規社員の数を増やすことにならないように、行政の充実を目指してほしい。

34. 行政・企業・個人の積極的PR活動が必要。

35. 社員の意識改革が必要であり、行政もWLBを積極的に推進してほしい。

36. 行政が保育所を増設してほしい。

6 企業事例集の作成

八都県市では、企業・事業所において、ワークライフバランスを推進するために活用していただけるよう、八都県市（四都県）域内にある企業・事業所の優れた取組事例を事例集にまとめ、作成してきた。

平成19年度に20事例でスタートし、20年度は53事例、21年度は下記の75事例に増え、取組の輪が広がっている。

なお、3年間の成果としてまとめるだけでなく、今後多くの企業に活用していただけるよう、別冊「八都県市ワークライフバランス推進企業事例集」※として作成した。

（※各事例については事例集を参照願います）

【掲載企業・事業所】

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 (株)アクティブブレインズ | 38 東京電力(株)千葉支店東葛支社 |
| 2 (株)アイテック | 39 (株)東武百貨店船橋店 |
| 3 (株)コッコト | 40 富士重工業(株)産業機器カンパニー |
| 4 (株)コマーム | 41 (株)C I J |
| 5 大里総合管理(株) | 42 東京濾器(株) |
| 6 アリオン(株) | 43 生活協同組合さいたまコープ |
| 7 (株)太陽商工 | 44 川口信用金庫 |
| 8 三州製菓(株) | 45 (株)DNP情報システム |
| 9 (株)渡辺製作所 | 46 イオンモール(株) |
| 10 市原興業(株) | 47 生活協同組合ちばコープ |
| 11 (株)旭商会 | 48 曙ブレーキ工業(株) |
| 12 (株)システムインテグレータ | 49 セレサ川崎農業協同組合 |
| 13 石坂産業(株) | 50 横浜信用金庫 |
| 14 (株)十万石ふくさや | 51 キッコーマン(株) |
| 15 (株)アローズ・システムズ | 52 (株)P F U |
| 16 (社福) 殿山福祉会殿山亀寿苑 | 53 国立大学法人千葉大学 |
| 17 (株)みつば | 54 ポラスグループ |
| 18 (株)七星科学研究所 | 55 新栄工業(株) |
| 19 (株)埼玉富士 | 56 (株)富士国際旅行社 |
| 20 武州ガス(株) | 57 (株)アイ・アイ・エム |
| 21 医療法人芙蓉会 | 58 (株)T 4 C |
| 22 日本化学産業(株)埼玉工場 | 59 (株)フォーネット社 |
| 23 医療法人社団東光会茂原中央病院 | 60 (株)インデックス |
| 24 (株)KELK (ケルク) | 61 医療法人社団北原脳神経外科病院 |
| 25 (株)サンリツ | 62 (株)東京コンサルト |
| 26 津田工業(株) | 63 (株)トライアンプ |
| 27 東彩ガス(株) | 64 (株)経営支援 |
| 28 アルバック成膜(株) | 65 (株)ヒューマンシステム |
| 29 (株)日立テクニカルコミュニケーションズ | 66 (株)妙徳 |
| 30 医療法人社団清心会 藤沢病院 | 67 武陽ガス(株) |
| 31 (株)N I D ・ I S | 68 N P O法人フローレンス |
| 32 (株)タカサ | 69 (株)イーウェル |
| 33 (株)富士通ワイエフシー | 70 (株)デジタル・インフォ・プロデュース |
| 34 毎日興業(株) | 71 (株)とらうべ |
| 35 アイ・エス・ガステム(株) | 72 (株)トーリツ |
| 36 ピジョン(株) | 73 ゲティング・ジャパン(株) |
| 37 ヒゲタ醤油(株) | 74 (有)ケア・プランニング |
| | 75 バンビ保育園 |

Ⅲ 各都県市が実施したセミナー・イベント等

21年度

イベント・主催・名称・期日場所	概要
埼玉県・21世紀職業財団 「仕事と家庭の両立推進セミナー」 10/2(金)・プリランテ武蔵野(さいたま市)	両立支援のための雇用管理の改善やワークライフバランス推進について具体的な取組方法、企業の取組事例等の情報を提供する。講演及び企業事例発表 ・事例発表 (株)資生堂、津田工業(株) (参加者 46名)
埼玉県 「企業の子育て応援推進セミナー」 11/30(月)・彩の国さいたま芸術劇場(さいたま市)	「埼玉県あつたか子育て企業賞」表彰式、受賞企業の取組事例紹介やワークライフバランスをテーマとした演劇など ・出席企業 生活協同組合さいたまコープ、川口信用金庫、(株)埼玉富士、(株)システムインテグレータ、津田工業(株)、(福)殿山福祉会、ポラス(株)
埼玉県 「ここで差がつく・実践！ワークライフバランスセミナー」 1/15(金)・さいたま共済会館(さいたま市)	育児・介護休業法改正のポイント、ワークライフバランスの推進についての具体的な取組方法、 ・講師 桑原 和弘氏(社会保険労務士) 渥美 由喜氏((株)東レ経営研究所) ・事例発表 (株)埼玉富士、津田工業(株) (参加者 80名)
埼玉県 「企業の仕事と生活の両立支援推進セミナー」 2/19(金)・ホテルプリランテ武蔵野(さいたま市)	ワークライフバランス推進のための企業の業務体制づくりをテーマに基調講演及びパネルディスカッションを実施。 ・講師 桑原 和弘氏(社会保険労務士) ・事例発表 NPO法人フローレンス働き方革命事業部長 宮崎 真理子氏、イケア・ジャパン(株) 新三郷ストアマネージャー 泉川 玲香氏
千葉県・子育てお母さん再就職支援センター 「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 10/9(金)・ちば仕事プラザ(千葉市)	「ワークライフバランスのすすめ ワーキングマザーになるために」 ・講師 千代田 真紀氏 (米国 CCE, Inc. 認定GCDF-Japanキャリアカウンセラー) (参加者 36名)
千葉県・柏市・21世紀職業財団 「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 10/30(金)・柏商工会議所(柏市)	①基調講演 「一人ひとりがやりがいを持ち、能力発揮できる企業へ ～高島屋の取り組み～」 中川 荘一郎氏 (株)高島屋 人事部・人事政策担当次長 ②事例発表 (株)アドレス・インフォメーション (参加者 51名)
千葉県・船橋市・21世紀職業財団 「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 11/5(木)・船橋グランドホテル(船橋市)	①基調講演 「資生堂におけるワーク・ライフ・バランスの取り組み」 久保 光司氏 (株)資生堂 人事部ダイバーシティ推進グループ・課長 ②事例発表 (株)NID・IS (参加者 57名)
千葉県・21世紀職業財団 「千葉県労働大学講座」 11/10(火)・千葉県教育会館(千葉市)	「働きがいを感じる会社づくり」～多様性を活かして、ハートの尊重を～ ・講師 宮前 和明氏 (イオンモール(株) 管理本部 人事・教育部マネージャー) (参加者 115名)
千葉県・千葉市・21世紀職業財団 「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 11/19(木)千葉商工会議所(千葉市)	事例発表 五井病院、(株)タカサ、千葉大学 (参加者数 58名)
千葉県・子育てお母さん再就職支援センター 「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 2/26(金)・ちば仕事プラザ(千葉市)	「ワークライフバランスのすすめ ワーキングマザーになるために」 ・講師 千代田 真紀氏 (米国 CCE, Inc. 認定GCDF-Japanキャリアカウンセラー) (参加者 23名)
東京都・子育て応援とうきょう会議 「ワークライフバランスフェスタ東京 2010」 2/9(火)・東京国際フォーラム	「平成 21 年度東京ワークライフバランス認定企業」への認定状授与式、パネルディスカッションを中心に、働き方の見直しについての社会的機運を醸成するイベントを開催した。 (総入場者数 4,010名)

イベント・主催・名称・期日場所	概要
東京都・東京経営者協会 シンポジウム「今こそ取り組み！ワーク・ライフ・バランス」 10/2(金)	① 基調講演 「ワーク・ライフ・バランス実践が男女の働き方を変える」 脇坂 明氏(学習院大学 経営経済研究所所長) ② パネルディスカッション 「仕事と生活の調和で伸びる東京の企業」 ・コーディネータ 野村 浩子氏(日本経済新聞社編集委員) ・コメンテータ 脇坂 明氏 ・パネリスト 新井 妙子氏(共同印刷株)、 坂本 友理氏(株)ジェイティービー)、 茶谷 武志氏(株)経営支援) (参加者 162名)
神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市 「神奈川ワーク・ライフ・バランス・シンポジウム」 10/16(金)	「地域戦略としてのワーク・ライフ・バランス」をテーマとする対談、企業事例発表。 ・基調講演 渥美 由喜氏((株)東レ経営研究所) 島 桜子氏 (慶応義塾大学ワークライフバランス研究センター准教授) ・事例紹介 医療法人社団伊純会介護老人保健施設スカイ、 (株)PFU、 (株)旭商会 (参加者 169名)
横浜市 「企業向けワーク・ライフ・バランス推進セミナー」 7/7(火)・横浜情報文化センター(横浜市中区)	「今、不況を乗り切るために！～経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス～」をテーマに企業経営者・人事労務担当者等を対象に企業経営や組織運営に役立つためのワーク・ライフ・バランス導入の意義・ノウハウや経営戦略としての考え方を紹介。 ・講演 渥美 由喜氏((株)東レ経営研究所) ・セミナー 上岡 由美子氏(特定社会保険労務士) ・事例紹介 相鉄アメニティライフ(株)、(株)ダッドウェイ (参加者 73名)
トツキトウカ YOKOHAMA 実行委員会・横浜市 「トツキトウカ YOKOHAMA with ハマハヴ ファミリーフエスタ 2010」 3/14(日)・クイーンズスクエア横浜 1階 クイーンズサークル(横浜市西区)	横浜のママ・パパが赤ちゃんに贈った愛のメッセージを集めた詩集「トツキトウカ YOKOHAMA 2010」発行記念イベントの中で、パパの子育てや子どものおおかけをテーマとした講座やパネル展示などを実施。 日丸 邦彦氏(株式会社ダッドウェイ、市内在住の子育て中の父親) 棒田 明子氏(育児サイト「ユウ chan」編集長) (来場者 5,000名)
川崎市男女共同参画センター 「ワークライフバランスを実現する川崎の男女共同参画政策最新事情」 9/12(土)・川崎市男女共同参画センター(愛称 すくらむ 21)	・講師 川崎市(人権・男女共同参画室 室長、主幹、センター館長) ・協働事業 川崎の男女共同社会をすすめる会、ウーマンズ・アイ、 かながわ女性会議川崎支部
川崎市男女共同参画センター 「男の家事探検隊！ 苦手を克服！ 職人に学ぶ上手なアイロンのかけ方」 9/27(土)・川崎市男女共同参画センター	・協働事業 食の安全・安心行動提起・実行グループ Uzumaki ・講師 渡辺 吾郎氏(商店街のクリーニング店店主)
川崎市男女共同参画センター 「[男の料理塾]元気になる！ 男の菜食料理塾」 10/18(日)・中原市民館	・協働事業 食の安全・安心行動提起・実行グループ Uzumaki ・講師 市原 由貴子氏(栄養士、料理研究家) 山本 妙子氏(神奈川県立保健福祉大学)
川崎市男女共同参画センター 「ワークライフバランス社会《生きる》学び生かそう女子差別撤廃条約 30 年」 11/14(土)・川崎市男女共同参画センター	・協働事業 川崎の男女共同社会をすすめる会、ウーマンズ・アイ、 かながわ女性会議川崎支部 ・講師 杉井 静子氏(弁護士)
川崎市男女共同参画センター 「男の家事探検隊！ お部屋も心もすっきり！ 手早く簡単な収納・整理術」 11/15(土)・川崎市男女共同参画センター	・協働事業 食の安全・安心行動提起・実行グループ Uzumaki ・講師 西岡 麻里子氏(女性建築技術者の会) + 家具店店主
川崎市男女共同参画センター 「[男の料理塾]元気になる！ 男のパーティー料理」 12/6(土)・中原市民館	・協働事業 食の安全・安心行動提起・実行グループ Uzumaki ・講師 市原 由貴子氏(栄養士、料理研究家) 山本 妙子氏(神奈川県立保健福祉大学教授)

イベント・主催・名称・期日場所	概要
川崎市男女共同参画センター 「本当の意味のワーク・ライフ・バランスとは何か —人間らしい生き方を考える—」 2/21(日)・川崎市男女共同参画センター	・協働事業 川崎の男女共同社会をすすめる会、ウーマンズ・アイ、 かながわ女性会議川崎支部 ・講師 浅倉 むつ子氏(早稲田大学法科大学院教授)
川崎市男女共同参画センター 「ワークライフバランスキャンペーン」 10月～11月	・モバイル型バランスボードの設置 ・ビデオ上映、関連する新聞記事や書籍の紹介 ・ワークライフバランス川柳の実施・掲示
川崎市 総務局 人事部 人事課 「ワークライフバランスキャンペーン・川崎市新任課長 研修」 11/2(月)・川崎市教育文化会館	テーマ:「働き方新時代のワーク・ライフ・バランス」 1. WLB の実践に結びつく行動方法 2. WLB に対する認識の世代間格差の現状と解決手法 3. WLB をめぐって部下とコンフリクトを起こさないコミュニケーション術 ・講師 中間 真一氏 (株)ヒューマンルネッサンス研究所取締役研究部長)、 鷲尾 梓氏 (株)ヒューマンルネッサンス研究所研究部研究員)
さいたま市 「さいたま市子どもフォーラム」 10/31(土)・浦和コミュニティセンター(さいたま市)	ワークライフバランスの周知、父親の育児参加の促進を目指し、父親と子どもが 参加できる体験型のイベントとして開催 ・テーマ「パパと一緒に！！～たまにはママ一人でエンジョイ～」 ・内容 親子たいそう、パラバルーン、参加型の人形劇、大道芸と紙芝居など ※同日、浦和パルクにて「ママ得キャンペーン」も実施
さいたま市男女共同参画推進センター(パートナーシ ップさいたま) 「さいたま市女性カレッジ2009」 11/24(火)・生涯学習総合センター(さいたま市)	全8回の連続講座「さいたま市女性カレッジ2009 ～“時代”と女性たち エン パワーメントの歴史～」の最終回の講座。女性も男性もしなやかに、そして幸せ に生きるために、共に創造するワーク・ライフ・バランス社会に向けてどのようなこ とができるのか、これからの“時代”を展望する。 ・テーマ「ワーク・ライフ・バランス社会へ」 ・講師 竹信 三恵子さん(朝日新聞編集委員)
さいたま市男女共同参画推進センター(パートナーシ ップさいたま) 「さいたま市男性カレッジ2009」 2/14(日)・21(日)・桜木公民館 2/26(金)・生涯学習総合センター (さいたま市)	全3回の連続講座「さいたま市男性カレッジ2009 ～弁当男子のすすめ 食あ ってこそ男の自立～」において、「社会的・文化的につくられた性としての男性」に ついて理解を深め、食を通じて、女性と共により良いワーク・ライフ・バランスを 実現することを目的として実施する。そして、男性が男性問題を考えていきっか けとなるよう学ぶ機会とする。 ○テーマ 【第1回(2/14)】 「<調理実習>弁当男子～入門編～ 男子も厨房に入ろう」 ・講師 新井 久美子さん(NPO 法人食生活カウンセラーの会) 【第2回(2/21)】 「<調理実習>弁当男子～デザート編～ + 交流サロン」 ・講師 渋谷 一彦さん(シエ・シブヤ オーナーシェフ) 八景 秀一さん(コラムニスト) 【第3回(2/26)】 「<<公開講座>>イクメンパパのすすめ ～食も子育ても楽しもう」 ・講師 安藤 哲也さん(NPO 法人ファザーリングジャパン代表)
さいたま市男女共同参画推進センター(パートナーシ ップさいたま) 「ワーク・ライフ・バランスセミナー」 3/13(土)・20(土)・さいたま市男女共同参画推進セ ンター(パートナーシップさいたま)	男女がともに社会に参画し、仕事、結婚、子育てに対する積極性を引き出すキ ーワードとしてのワーク・ライフ・バランスを認識し、一人ひとりの働き方や生き方 について考える。 ○テーマ 【第1回(3/13)】「男女共同参画の視点で考えるワーク・ライフ・バランス」 ・講師 内藤 和美さん(群馬パース大学教授) 【第2回(3/20)】「次世代育成支援とワーク・ライフ・バランス」 ・講師 前中 寛之さん(財団法人子ども未来財団調査研究部長)

20年度

イベント(※主催・名称・期日場所)	概要
埼玉県・21世紀職業財団 「仕事と家庭の両立推進セミナー」 10/2(木)・プリランテ武蔵野(さいたま市)	① 講演「ワーク・ライフ・バランスで企業の活性化をめざす」 ・講師 ジャーナリスト 福沢 恵子氏 ② 事例発表「仕事と家庭の両立支援への取組について」 ・三州製菓(株) (参加者 100名)
埼玉県 「企業のための子育て応援推進セミナー」 11/13(木)・県民健康センター(さいたま市)	①「埼玉県あったか子育て企業賞」表彰式 ②法政大学 武石 恵美子教授及び武石ゼミの学生による調査報告「埼玉県の企業におけるワークライフバランスの取組について」 ③パネルディスカッション「ワークライフバランス、わが社の場合～おかげさまで社員も会社も元気はつらつ～」 ・コーディネーター 渥美 由喜氏 ・事例発表 曙プレーキ工業(株)、(株)埼玉りそな銀行、(株)十万石ふくさや、富士重工業(株)産業機器カンパニー (参加者 100名)
埼玉県 「企業の子育て応援セミナー」 9/17(水)・埼玉県男女共同参画推進センター(さいたま市)	①基調講演「ワークライフバランスをどう進めるか～企業、人材、働き方のあるべき姿～」 ・講師 木谷 宏氏(学習院大学特別客員教授) ②シンポジウム ・パネリスト 雫 智恵子氏((株)鈴木薬局)、田中覚氏(武州ガス(株))、中村 恭子氏(埼玉県女性キャリアセンター) (参加者 37名)
埼玉県 「企業の子育て応援セミナー」 2/4(水)・にいざほつとぶらざ(新座市)	①取組事例紹介「企業内保育所の共同設置の取組について」 小松 君恵氏((株)コマム)、 埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブ・ファム ②行政の支援策紹介 (参加者 32名)
千葉県 「千葉県労働大学講座」 10/31(金)・千葉県教育会館(千葉市)	「経営戦略・人事戦略としてのワーク・ライフ・バランス」 ・講師 木谷 宏氏(学習院大学特別客員教授) (参加者 126名)
千葉県・柏市・21世紀職業財団 「企業の社会的責任を考えるセミナー」 11/7日(金)・さわやかちば県民プラザ(柏市)	①基調講演「企業の社会的責任としてのコンプライアンスとワーク・ライフ・バランス」 木谷 宏氏(学習院大学特別客員教授) ②事例発表 ・東京電力(株)千葉支店東葛支社 (参加者 32名)
千葉県・千葉市・21世紀職業財団 「ワーク・ライフ・バランスセミナー 社員がいきいき働く！職場環境づくり」 11/11(火)・きぼーる(千葉市)	①基調講演「ハードよりハートの職場環境づくり」 宮前 和明氏(イオンモール(株)人事グループマネージャー) ②事例発表 (株)アクティブブレインズ、生活協同組合ちばコープ (参加者 48名)
千葉県・野田市・野田地区雇用対策協議会・21世紀職業財団 「ワーク・ライフ・バランス入門セミナー」 11/20(木)・さわやかワークのだ(野田市)	①基調講演「働きがいのある職場環境づくりを目指して」 貝塚 清和氏(キックマン(株) 人事部主幹) ②事例発表 アイ・エス・ガステム(株) (参加者数 24名)
千葉県・銚子市・銚子商工会議所・21世紀職業財団 「ワーク・ライフ・バランス入門セミナー」 11/28(金)・銚子市勤労コミュニティセンター(銚子市)	①基調講演「ハードよりハートの職場環境づくり」 宮前 和明氏(イオンモール(株)人事グループマネージャー) ②事例発表 (株)アイテック (参加者数 23名)
千葉県・八千代市 「子育てママ活力アップ講演会」 12/6(土)・八千代市総合生涯学習プラザ(八千代市)	①基調講演「がんばって、仕事も家庭もゲットする」 宮本 まき子氏 ②事例発表 (株)サンリツ、(株)東武百貨店船橋店 (参加者 38名)

イベント(※主催・名称・期日場所)	概要
千葉県・千葉県男女共同参画推進連携会議・ 内閣府・男女共同参画推進連携会議 「仕事と生活の調和を考えるシンポジウム」 1/15(木)・ホテルポートプラザちば(千葉市)	①事例発表 (株)レカムサービス、(財)成田国際空港振興協会 ②千葉県男女共同参画推進連携会議の部会活動報告 ③パネルディスカッション ・コーディネーター 鹿嶋 敬氏(実践女子大学教授)、 安藤 哲也氏(NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事) エヴァロッタ・シェステット(イケア・ジャパン(株)HRマネージャー) 堂本 暁子(千葉県知事) (参加者 290名)
東京都・子育て応援とうきょう会議 「ワークライフバランスフェスタ東京 2009」 2/18(水)・東京国際フォーラム	①「平成20年度東京ワークライフバランス認定企業」への認定状授与式、 ②基調対談(佐々木 常夫氏 (株)東し経営研究所代表取締役社長、 渡辺 真理氏 フリーアナウンサー)を中心に、働き方の見直しに取り組む社会的 機運を醸成するイベントを開催。 [総入場者 4, 129名]
東京都・東京経営者協会 シンポジウム「実践しよう!! ワーク・ライフ・バラン ス」 10/3(金)・東京ウイメンズプラザ	①基調講演「ワーク・ライフ・バランスが日本を元気にする」 麓 幸子氏(「日経WOMAN」編集長) ②パネルディスカッション「社員を活かす会社とは～東京の企業から働き方改革～」 ・コーディネーター 麓 幸子氏 ・パネリスト 浅山 理恵氏(株)三井住友銀行)、 井澤 貞行氏(東京書籍(株))、木暮 輝人氏(和光堂(株))、 鈴木 一彦氏(富士重工業(株)) (参加者 211名)
神奈川県・21世紀職業財団 「仕事と家庭を考えるシンポジウム」 10/31(水)・かながわ労働プラザ	仕事と家庭の両立できる雇用環境の整備を進めるため、県内企業の人事労務担 当者等を対象にしたシンポジウム ①基調講演 樋口 美雄氏(慶應義塾大学教授) ②パネルディスカッション ・コーディネーター 樋口 美雄氏(慶應義塾大学教授) ・パネリスト 小林 留美氏((株)日立テクニカルコミュニケーションズ) 安藤 哲也氏(NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事) (参加者 101人)
内閣府・神奈川県 「官民連携子育て支援推進フォーラム全国リレ シンポジウム神奈川県大会」 10/10(金)・横浜シンポジア	仕事と子育ての両立支援やライフステージにあわせた「働き方」が可能となる社会の 実現に向けて、企業経営者、勤労者を含む社会全体の意識や行動の改革を進め ていくために開催 ①分科会 【分科会1】企業における子育て支援の取組 ・コーディネーター 松田 茂樹氏((株)第一生命経済研究所) ・事例紹介 富士通(株)、(株)旭商会 (参加者 54人) 【分科会2】地域における子育て支援 ・コーディネーター 山崎 美貴子氏(県立保健福祉大学長) ・事例紹介 グッドトイ委員会、ChildWish、開成町、大和市 (参加者 59人) ②シンポジウム 【基調講演】 樋口 美雄氏(慶應義塾大学教授) 【パネルディスカッション】 ・パネリスト 松沢 成文氏(神奈川県知事)、 白石 俊雄氏(連合神奈川県会長)、 高橋 忠生氏(神奈川県経営者協会会長) ・モデレーター 樋口 美雄氏(慶應義塾大学教授) ・コーディネーター 山崎 美貴子氏(県立保健福祉大学長) (参加者 140人) ※ かながわ子ども・子育て支援大賞等表彰式も併せて実施
横浜市 「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー」 7/3(木)・横浜シンポジア(横浜市中区)	①講演「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」 ・講師 (株)ワーク・ライフ・バランス代表 小室 淑恵氏 ②事例発表 (株)富士通ワイエフシー、 NPO 法人でっかいそら (参加者 100名)

イベント(※主催・名称・期日場所)	概要
横浜市・内閣府 「全国男女共同参画フォーラム in 横浜」 10/19(日)・男女共同参画センター横浜(横浜市戸塚区)	①対談「仕事と生活のグッドバランスを目指して」 生活コラムニスト ももせ いずみ氏 安藤 哲也氏(NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事) ②分科会3テーマ (参加者 全体会 200名、分科会 130名)
トツキトウカ YOKOHAMA 実行委員会・横浜市 「トツキトウカ YOKOHAMA フェスタ 2008」 10/4(土)・クイーンズスクエア横浜 1階 クイーンズサークル(横浜市西区)	横浜のママ・パパが赤ちゃんに贈った愛のメッセージを集めた詩集「トツキトウカ YOKOHAMA」PR イベントの中で、パパの子育てやワーク・ライフ・バランスをテーマとしたトークショーなどを実施。 金柿 幸久氏(NPO 法人ファザーリング・ジャパン、株式会社絵本ナビ代表) 日丸 邦彦氏(株式会社グッドウェイ、市内在住の子育て中の父親) 宮本 正彦氏(横浜市こども青少年局企画調整課長、市内在住の子育て中の父親) (来場者 4,000名)
主婦の友社・横浜市 「お散歩 day in YOKOHAMA 2008」 11/16(日)・クイーンズスクエア横浜 1階 クイーンズサークルほか、みなとみらい地区一帯(横浜市西区)	妊娠中の方、子育て家庭を対象に、みなとみらい地区の子育てマップの発行と、それを活用したお散歩ラリーなどを実施。家族で参加できるイベントの実施により、父親の子育て参加の機会とした。 つるの 剛士さん(タレント)トークショーほか (参加者 931組)
川崎市 「パパのための子育て講座ー子どもと！ママと！一緒に楽しむ子育ての秘訣ー」 10/13(月)・川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21)	・講師 安藤 哲也氏(NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事)
川崎市 「連続講座・女性起業家ビギナーズサロン ワーク・ライフ・バランスと経営バランス」 11/29(土)・川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21)	講師 大江 栄氏(中小企業診断士) 事例提供 大橋 ゆり氏(有限会社プラスプラス)
川崎市 「連続講座・すくらむ塾(公開) 人間回復とワーク・ライフ・バランス」 12/6(土)・川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21)	講師 神野 直彦氏(東京大学教授)
川崎市 「ワークライフバランスキャンペーン」 10/1(水)～12/6(土)	・モバイル型バランスボードの設置 ・ビデオ上映、関連する新聞記事や書籍の紹介 ・メッセージの掲出 等
川崎市 「川崎市ワークライフバランス推進フォーラム 変えてみよう！働き方～パパ！子育てしてますか？～」 11/25(火)・川崎市産業振興会館	①基調講演 パク・ジョアン・スックチャ氏 (ワーク/ライフコンサルタント、アパシオナータ,Inc.代表) ②パネルディスカッション 大下 勝巳氏(おやじの会いたか世話人)、 網島 和彦氏(JFE スチール京浜労働組合副執行委員長)、 西岡 佳津子氏 ((株)日立製作所労政人事部ダイバーシティ推進グループ部長代理)、 ・コーディネーター 中村 立子氏(川崎市男女共同参画センター館長)

19年度

イベント(※主催・名称・期日場所)	概要
埼玉県 「定時退庁協力企業の登録」 10/21(日)～27(土)	キャンペーン週間である 10/21(日)～27(土)に、定時又は早めの退社に協力していただける企業を登録し、実施日や実施方法をホームページで紹介した。登録企業:46社
埼玉県・21世紀職業財団 「仕事と家庭の両立支援推進セミナー」 10/12(金)・埼玉県男女共同参画センター(さいたま市)	仕事と家庭が両立できる就業環境づくりを進めるため、県内企業を対象としたセミナーを開催した。 ①基調講演 渥美 由喜氏(株)富士通総研 ②意見交換 雪山 光恵氏(尙雪山堂) 野沢 成芳氏(株)ヤオコー (参加者 70人)
埼玉県 「埼玉県あったか子育て企業賞」 「子育て応援推進フォーラム」 10/22(月)・埼玉県県民健康センター(さいたま市)	仕事と子育て両立できる働きやすい職場づくりなどに取り組み、優れた成果を上げている企業・事業所を表彰した ・出席企業 武州瓦斯(株)、朝日航洋(株)、協和界面科学(株)、サンケン電気(株)、(株)モテギ、医療法人社団心司会介護老人保健施設しよわ、 ①基調講演 小室 淑恵氏((株)ワーク・ライフバランス) ②「埼玉県あったか子育て企業賞」表彰式 ③パネルディスカッション ・コーディネーター 渥美 由喜氏(株)富士通総研 ・パネリスト 武石 恵美子氏(法政大学)、池田 由季子氏(株)太陽商工、北風 良雄氏(ボッシュ株)、上田 清司(埼玉県知事) (参加者 200人)
千葉県 「千葉県労働大学講座」 10/23(火)・千葉県教育会館(千葉市)	「ワーク・ライフ・バランス」の現状 ・日本経済新聞 編集委員 岩田 三代氏 (参加者 152人)
千葉県、21世紀職業財団 「仕事と子育てが両立できる職場づくりを目指して」&「改正パートタイム労働法」 10/24(水)・千葉市文化交流プラザ	仕事と家庭が両立できる就業環境づくりを進めるため、事業主、人事労務担当者を対象としたセミナーを開催する。 ①基調講演 水越 さくえ氏((株)セブン&アイホールディングス) ②事例発表 戸田 久氏(ちばコープ) (参加者 199人)
千葉県・浦安市・浦安市商工会議所・21世紀職業財団 「ワーク・ライフ・バランスの推進を目指して」 11/6(火)・浦安市市民プラザ(浦安市)	仕事と家庭が両立できる就業環境づくりを進めるため、主に企業経営者を対象としたセミナーを開催する。 ①講演 木谷 宏氏((株)ニチレイ) ②事例発表 木元 賢氏((株)ホテルオークラ東京ベイ) (参加者 48人)
千葉県・松戸市・21世紀職業財団 「これからの時代の企業経営～ワーク・ライフ・バランス取組企業の事例～」 11/9(金)・松戸市女性センター「ゆうまつど」	仕事と家庭の両立支援の必要性や企業の中での経営戦略として取り組む姿勢を明確に示すことの重要性をテーマとした事例を中心に、事業主、人事・労務担当者を対象としたセミナーを開催する。 ①事例発表 (株)伊勢丹、(株)ココロ、(株)インテリア計画 (参加者 52人)

イベント(※主催・名称・期日場所)	概要
東京都 「労働セミナー」 10月	ワークライフバランス関連の労働セミナーを都内の労働相談情報センターにて10月中に6回実施した。 ・講師 坂爪 洋美(和光大学准教授) 等 (延べ参加者 202人)
東京都・東京経営者協会 シンポジウム「多様な働き方と再チャレンジ」 10/12(金)・東京ウイメンズプラザ(渋谷区)	①基調講演「女性活用が人材不足を救う」 宮本 みち子氏(放送大学教授) ②パネルディスカッション「チャレンジから広がる仕事と暮らし」 ・コーディネーター 浅野 令子氏(淡海ネットワークセンター事務局長) ・パネラー 宮本 みち子氏(放送大学教授)、 雨宮 弘子氏(東京電力(株))、 荒井 秀子氏(株レリアン)、 小垣 美津子氏(株ロッテ中央研究所) 中野 芳典氏(坂口電熱(株)) (参加者 170人)
神奈川県・横浜市・川崎市・21世紀職業財団 「仕事と家庭を考えるシンポジウム」 10/31(水)・かながわ労働プラザ	仕事と家庭の両立できる雇用環境の整備を進めるため、県内企業の人事労務担当者等を対象にしたシンポジウムを開催した。 ①基調講演 渥美 由喜氏((株)富士通総研) ②パネルディスカッション ・コーディネーター 渥美 由喜氏((株)富士通総研) ・パネリスト 楠本 康紀氏 (松下電器産業(株)パナソニックオートモーティブシステムズ社) 村田 直子氏((株)横浜銀行)、 大滝 順一氏(神奈川県経営者協会) 橋本 弘氏(連合神奈川) (参加者 112人)
横浜市 「ワーク・ライフ・バランス導入セミナー」 2/7(木)・横浜市技能文化会館(横浜市中区)	企業経営者・人事労務担当者等を対象に企業経営や組織運営に役立つためのワーク・ライフ・バランス導入の意義・ノウハウを紹介。 ・講演 渥美 由喜氏((株)富士通総研) ・事例紹介 (株)富士通ワイエフシー、(株)みつば (参加者 50人)
トツキトウカYOKOHAMA実行委員会・横浜市 「トツキトウカ YOKOHAMA フェスタ」 10/7(日)・大さん橋ホール(横浜市中区)	横浜のママ・パパが赤ちゃんに贈った愛のメッセージを集めた詩集「トツキトウカ YOKOHAMA」PR イベントの中で、パパの子育てやワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演を実施。父親の子育て参加をテーマとしたトークショーなど父親の子育て参加の機会とした。 (参加者 7,000人)
主婦の友社・横浜市 「お散歩 day in YOKOHAMA」 10/21(日)・クイーンズスクエア横浜 1階 クイーンズサークルほか、みなとみらい地区一帯(横浜市西区)	妊娠中の方、子育て家庭を対象に、みなとみらい地区の子育てマップの発行と、それを活用したお散歩ラリーを開催。家族で参加できるイベントの実施により、父親の子育て参加の機会とした。 (参加者 1,179組)
横浜市 「ワーク・ライフ・バランス職員研修」 10/17(水)・横浜市教育文化ホール(横浜市中区)	・講師 武石 恵美子氏(法政大学教授) (参加者 220名)

イベント(※主催・名称・期日場所)	概要
<p>川崎市 講座「夢をかなえるためのライフプランニング」 10/27(土)・川崎市男女共同参画センター (愛称:すくらむ21)</p>	<p>マイホーム取得、子どもの教育、趣味、独立、病気になったときなどについて、ワークライフバランスの視点から、今後のライフプランを考える。</p> <p>・講師 中原 越氏(ファイナンシャルプランナー) (参加者 17名)</p>
<p>川崎市 啓発キャンペーン「あなたにとってのワークライフバランスとは？」 9/21(金)～10/31(水)・川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21)</p>	<p>性別・年代・就業の有無など様々な状況の市民がどのように「ワークライフバランス」を捉えているのか、また生活実態はどのような状況であるのかを把握し、課題として視覚的に提示する。</p> <p>①「あなたにとってワークライフバランスとは？」…一言メッセージボードを設置し、市民の想い・提案などを投稿してもらい、そのメッセージを館内の壁面や廊下に掲出した。(参加者数 112名)</p> <p>②「ワークライフバランスの推進についての意見投票」…ワークライフバランスについて賛成、現状は無理、反対の3つの意見をシールで投票して市民に意思表示させた。(参加者数 159名)</p> <p>③「モバイル型バランスボードの設置」…ワークライフバランス全体のバランスを視覚的に捉えてもらうために、寄せられた意見などからキーワードを抽出するなどして作成したモバイル型バランスボードを交流室の中央に設置した。</p> <p>④ワークライフバランスに関するビデオ上映…常時上映のVTRのコンテンツに「ワークライフバランス」を多く取り入れ、来場者に意識の醸成を図った。</p> <p>⑤「すくらむ 21 通信への記事掲載」…27・28 号の 2 号に渡り、ワークライフバランス関連記事を掲載した。</p>
<p>川崎市 川崎市次世代育成支援対策特定事業主行動計画(職員子育て応援プラン)業務管理者研修 10/23(火)・いさご会館大ホール</p>	<p>行動計画において業務管理者と位置づけられている課長級の職員に対し管理職として必要なワークライフバランスに関する意識の啓発を目的とする。</p> <p>・講師 小室 淑恵氏 (株)ワーク・ライフバランス (参加者 169名)</p>
<p>さいたま市 男女共同参画職員研修 10/23(火)・さいたま市民会館うらわ</p>	<p>職員の男女共同参画に関する意識啓発を図ることを目的とする。</p> <p>講演「なぜ、男女共同参画社会の形成が必要なのか」～ワーク・ライフ・バランスの論議を中心に～</p> <p>・講師 鹿嶋 敬氏(実践女子大学人間社会学部教授) (参加者 372名)</p>

IV キャンペーン関係課 一覧

※22年4月現在のデータを掲載しております

名称	担当	所在地・電話番号等
埼玉県	福祉部少子化対策局少子政策課	330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL 048-830-3343 FAX 048-830-4784
	産業労働部勤労者福祉課	330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 TEL 048-830-4513 FAX 048-830-4850
千葉県	商工労働部雇用労働課	260-8667 千葉市中央区市場町1-1 TEL 043-223-2741 FAX 043-221-1180
	健康福祉部児童家庭課	260-8667 千葉市中央区市場町1-1 TEL 043-223-2317 FAX 043-224-4085
東京都	生活文化スポーツ局都民生活部男女平等参画室	163-8001 新宿区西新宿2-8-1 TEL 03-5388-3189 FAX 03-5388-1331
	福祉保健局少子社会対策部計画課	163-8001 新宿区西新宿2-8-1 TEL 03-5320-4115 FAX 03-5388-1406
	産業労働局雇用就業部労働環境課	163-8001 新宿区西新宿2-8-1 TEL 03-5320-4649 FAX 03-5388-1469
神奈川県	商工労働局労働部労政福祉課	231-8588 横浜市中区日本大通 1 TEL 045-210-5744 FAX 045-210-8873
	保健福祉局福祉・次世代育成部次世代育成課	231-8588 横浜市中区日本大通 1 TEL 045-210-4666 FAX045-210-8857
	県民局県民活動部人権男女共同参画課	231-8588 横浜市中区日本大通 1 TEL 045-210-3640 FAX045-210-8839
横浜市	こども青少年局企画調整課	231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 045-671-4281 FAX 045-663-8061
	市民局男女共同参画推進課	231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 045-671-2017 FAX 045-663-3431
川崎市	市民・こども局こども本部子育て施策部 こども企画課	210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 TEL 044-200-3174 FAX044-200-3190
	市民・こども局人権・男女共同参画室	210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 TEL 044-200-2300 FAX044-200-3914
千葉市	市民局生活文化部男女共同参画課	260-8722 千葉市中央区千葉港1-1 TEL 043-245-5060 FAX 043-245-5539
	こども未来局こども未来部こども企画課	260-8722 千葉市中央区千葉港1-1 TEL 043-245-5105 FAX 043-245-5629
さいたま市	子ども未来局子ども育成部子育て企画課	330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL 048-829-1909 FAX048-829-2516
	経済局経済部労働政策課	330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL 048-829-1370 FAX048-829-1987
	市民・スポーツ局市民生活部男女共同参画課	330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL 048-829-1231 FAX048-829-1969

八都県市ワークライフバランス推進キャンペーン 報告書

【 発 行 】

八都県市「仕事と子育ての両立支援推進検討会」
<埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市>
(事務局) 埼玉県 福祉部 少子化対策局 少子政策課

TEL 048-830-3343